



YOKOHAMA 4

広報よこはま

2026

GREEN

×

EXPO 2027

YOKOHAMA JAPAN



2027年国際園芸博覧会

横浜・上瀬谷 2027.3.19 — 9.26

International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan
City of Yokohama, Kanagawa Prefecture Mar.19-Sep.26 2027



横浜市長 山中竹春

市長だより

横浜グリーンエクスポの開催まで、いよいよあと1年となりました。多くの企業や国内自治体、海外諸国からの出展が予定されており、本市の出展では、「世界の明日を、みんなでひらく。」をテーマに、会場内に2つのエリアを展開します。

建物空間を活用したエリアでは、「環境先端技術」や「資源が循環するまちの姿」を体感しながら、サーキュラー（循環）な暮らしにつながる気づきや行動のきっかけをお届けします。

また、市民の皆様が主役となるエリアも設け、資源循環の取組などを体験し、実感できるフィールドを展開します。たとえば、市立学校の子どもたちが生ごみと土でつくる堆肥（植物の栄養になる土）を使って、環境活動に取り組む皆様が生かすなど、地域の力で循環の輪を広げていきます。

さらに、市立学校の児童・生徒をはじめ、市内の子どもたちを招待する予定です。未来を担うはまっ子たちにとって、持続可能な社会について考える機会となることを期待しています。

2027年にデビュー30周年を迎えるアーティスト・ゆずのお二人が、横浜グリーンエクスポの公式アンバサダーに新たに就任しました。横浜から歩みを始めたお二人が、エクスポを盛り上げる新たな楽曲を制作します。俳優の芦田愛菜さんにも引き続きご参加いただき、エクスポの魅力を広く発信していきます。

横浜グリーンエクスポは、市民の皆様とともに歩んできた横浜だからこそ実現できる万博です。花とみどりにあふれる未来の風景を、横浜から、市民の皆様とともに広げていきたいと思ひます。

横浜市版

16面 横浜市の物価高騰対策 くらしと家計を応援します

各種手続・窓口案内
市営交通の案内など

横浜市コールセンター（毎日8時～21時）
☎045-664-2525 ☎045-664-2828

横浜市コールセンター 検索

区役所の
開庁時間

●平日8時45分～17時（祝日・休日・12月29日から1月3日を除く）
※昼の時間帯はお待たせする時間がある場合があります。
●毎月第2・4土曜日 9時～12時
（戸籍課・保険年金課・こども家庭支援課の一部の業務）

横浜市データ
2026年
3月1日現在

人口	3,765,878人
世帯数	1,838,442世帯
横浜市 推計人口・世帯	検索





GREEN
x
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

開催まであと1年! 地

公式マスコットキャラクタートゥンクトゥンク ©Expo 2027

市民の皆さんと
ともにつくる

横浜市 出展

会場内には、地球にやさしい暮らしや環境とのかかわりを身近に体感できる2か所の横浜市の拠点をつくります。

また大阪・関西万博で使用された大屋根リングの木材をリユースし、循環型都市の象徴的な取組として発信します。



提供元: 2025年日本国際博覧会協会

GREEN x EXPO 2027とは

瀬谷区・旭区の旧上瀬谷通信施設で開催され、世界の花や緑、環境にやさしい未来を紹介する国際的な博覧会です。かつて米軍施設だった区域が、人々が集い、新しい価値を生み出し発信する場へと生まれ変わります。



建物空間を活用した発信拠点

未来に向けて挑戦する市民・企業の皆さんとともに、「行動変容体験ゾーン」、「先進技術体験ゾーン」の2つのゾーンを通じて、横浜が目指す循環型の未来のまち・暮らしを発信します。



建物は、自然と調和する国産の木材を外装に使用し、木目の風合いを生かした印象的なデザインです。

大阪・関西万博のリユース材を活用し、会期後には部材を市内の学校や公共施設で再利用することで、次世代へと継承します。

フィールドを活用した活動拠点

横浜産植物を活用した美しい花壇、公園愛護会など環境活動に取り組む皆さんとのフィールドづくり、ツアーガイド、ワークショップなど、子どもから大人まで、誰もが楽しめる活動の場を提供します。

来場されるすべての方々に、生き物の命や食の循環を体感いただきます。



ウェルカムガーデン

フィールドの入口を彩る、市内産植物などを活用した横浜ならではのガーデンです。

球と。咲きに行こう。

開催期間 2027
3.19 >>> 9.26

ゆずが新たな公式アンバサダーに就任!

横浜市出身の国民的アーティスト、ゆず(北川悠仁氏、岩沢厚治氏)のお二人が、開幕1年前の3月19日、GREEN×EXPO 2027を盛り上げる新たな公式アンバサダーに就任し、開幕に向けて2つの取組をスタートしました。



©SEنها

“柚子の樹”を植樹

メインゲートをくぐってすぐ、来場する誰もが目にする場所に「柚子の樹」を植樹しました。開催後も公園内に残り受け継がれるレガシーとして、大きな存在感を発揮します。



ゆずのお二人が植樹をする様子

コラボレーションソング制作

数々の名曲を世に送り出してきたお二人が、2027年のデビュー30周年の節目に、GREEN×EXPO 2027を、そして横浜を大いに盛り上げる、新たな楽曲の制作に着手します!



発信拠点 内観イメージ

市民の皆さんと集めた古布や廃材、会場の廃棄花に新たな命を吹き込みます。

ゾウなどを題材に循環の重要性を象徴的に伝える大型の展示物をつくります。

世界の舞台で輝く、ボランティア募集中!



先日募集した「花・緑ガイド」には、募集200人に対し、なんと約17倍の3,500人ものご応募をいただき、「花と緑の魅力を自分たちで伝えたい」という皆さんの想いの強さを実感しています。

来場者のご案内や花・緑の管理など、さまざまな役割を通して、GREEN×EXPO 2027の景色と一緒に創り上げる仲間を引き続きお待ちしております。



詳しくはこちら

現在募集中【4月30日(木) 17時まで】

EXPO全体 (募集人数)	●運営	約10,000人
	●植物管理	約2,000人

7月頃募集開始

横浜市出展 (募集人数)	●ツアーガイド	約100人
	●フィールドづくり	約200人
	●プログラム運営補助	約600人

みんなでつくるフィールド

●みんなで会場づくり

花壇づくりの参加人数世界記録に挑戦

●学校ブレん土づくり

市立学校の子どもたちが生ごみを混ぜてつくりたい肥を会場内で活用



観察とあそびの森

●生き物のすみかをつくろう

材料に剪定枝や廃材を活用したインセクトハウスを製作



1年後の開幕を彩る600本の桜

会期の始めとなる3月から4月にかけては、約40種・600本の桜が
一斉に咲き誇り、春ならではの華やかな景色が来場者を迎えます。

GREEN×EXPO 2027終了後も
市内最大級の桜の饗宴が楽しめる、
新たな市民の財産として未来に受け
継いでいきます。



河津桜



舞姫



染井吉野



菊桜



八重紅枝垂



越の彼岸



©(公財)日本花の会

6か月の会期のなかで移り変わる花

会場では季節ごとに表情を変える花々が楽しめます。
二十四節気や七十二候を意識し、繊細に変化する季節を活かした
人の営みを風景として表現します。

開幕

閉幕



春分～立夏



立夏～夏至



夏至～立秋



立秋～秋分

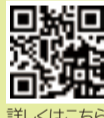
問合せ 脱炭素・GREEN×EXPO推進局GREEN×EXPO推進課 ☎045-671-4627 ☎045-212-1223

みなとみらいでGREEN×EXPO 2027を先取り!



横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2026

日本最大級の園芸イベントで会場いっぱいに広がる
花と緑の魅力に間近で触れてみませんか?

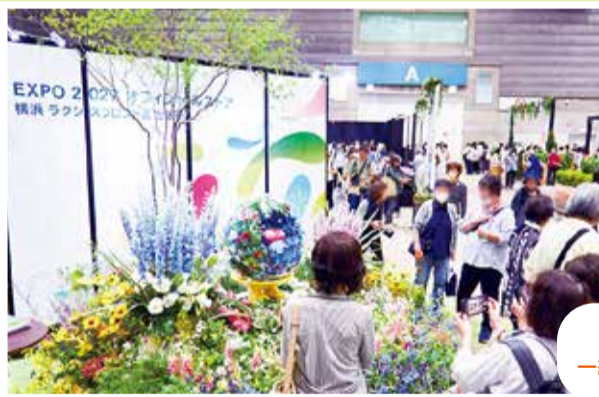


詳しくはこちら

日時 5月2日(土)～4日(月・祝) 10時～17時(4日は16時まで)
会場 パシフィコ横浜 展示ホールA・B
チケット 前売券1,600円 当日券2,000円

中学生
以下
無料

EXPOの魅力を紹介



トゥンクトゥンクと
一緒に写真を撮ろう!



オフィシャルストアも
期間限定出店!



場内ではスタンプラリーも実施!
集めるとひとつの絵が完成します

花と緑に触れるイベントが盛りだくさん

人気ゲストによる
多彩なステージ



▲三上真史さん(園芸デザイナー)や村雨辰剛さん
(庭師・俳優)などによる花や緑の魅力解説

子どもも楽しめる!
体験型ワークショップ



▲花の種が入った「たねダンゴ」作りや植木屋さんの
仕事体験

横浜に最新のバラが大集結

トレンドのバラ
約60種類を一挙紹介!



エメツ
2026年の新品種!



トワイライトヨコハマ
繊細さが魅力の日本品種

問合せ NTTハローダイヤル ☎050-5548-8686 (毎日9時～20時 6月15日まで) ☎045-550-4093

はま情報

今月11日以降の、市や外郭団体などが主催・共催の事業を掲載しています
市外局番は「045」です

募集

横浜市職員募集

大学卒程度等 採用試験

【区分】事務・技術系・消防など・免許や資格を必要とする職・学校事務

【試験日】6月21日(日)

【受付期間】4月7日～21日

☎ 人事委員会事務局任用課 (Tel) 671-3347 (Fax) 641-2757



市民病院 脳卒中・神経脊椎センター

横浜市立病院 看護職員募集

二十歳の市民を祝うつどい 実行委員募集

6月上旬から月1～2回の会議・作業と前日・当日に従事。2006年4月2日～2007年4月1日生まれの人、選考10人。詳細はWEBで
☎ 5月6日まで
☎ 教育委員会事務局生涯学習文化財課 (Tel) 671-3282 (Fax) 224-5863

市営住宅入居者募集

抽選532戸。詳細は4月13日から募集のしおり(区役所広報相談係で配布)かWEBで
☎ 4月24日まで
☎ 住宅供給公社 (Tel) 451-7777 (Fax) 451-7769

「地域緑のまちづくり」提案募集

民有地等で団体が行う緑化整備の提案を募集。要件・事前説明等詳細はWEBで
☎ 6月8日～12日
☎ みどり環境局環境活動事業課 (Tel) 671-3447 (Fax) 550-4554

福祉・高齢

障害のある人 市会計年度任用職員募集

2026年10月採用。詳細はWEBで
☎ 選考日=5月25日(月)～28日(木)
☎ 5月1日まで
☎ 行財政局人事課 (Tel) 671-2173 (Fax) 662-7712

4月から 障害者手当等の額を改定

- ①児童扶養手当
 - ②特別児童扶養手当(1・2級)
 - ③特別障害者手当、障害児福祉手当、福祉手当(経過的福祉手当)
- ☎ 各区福祉保健センターか、①こども青少年局こども家庭課 (Tel) 680-1192 (Fax) 641-8424 ②こども青少年局こども家庭課 (Tel) 680-1189 (Fax) 641-8424 ③健康福祉局障害自立支援課 (Tel) 671-3891 (Fax) 671-3566

身体障害者奨学生 募集

身体障害者手帳を持つ高校生以上の学生(一部除く)、選考。詳細はWEBで
☎ 通学校経由で5月27日までに、こども青少年局障害児福祉保健課 (Tel) 671-4278 (Fax) 663-2304

ぜんそく個別相談

各日先着。①15歳以上、2人②15歳未満、4人。日時等詳細はWEBで
☎ 5月～2027年2月
☎ 4月13日から
☎ 会場のみなと赤十字病院 (Tel) 628-6381) か健康福祉局健康推進課 (Tel) 671-3824 (Fax) 663-4469

理療臨床公開講座生の募集

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゆう師免許を持つ視覚障害者、抽選8人
☎ 5月14日～2027年2月25日の木曜、全30回
☎ 4月20日までに☎で会場の盲特別支援学校 (Tel) 431-1629 (Fax) 423-0284

養育費セミナー 参加者募集

ひとり親家庭か離婚予定の親、各抽選20人。詳細は①4月1日②5月21日からWEBで
☎ 各9時45分～11時45分
①5月20日(水)②7月9日(木)
☎ 青少年育成センター
☎ 1歳6か月～未就学児(予約制)
☎ ①4月1日～5月13日に②5月21日～7月2日に☎で、ひとり親サポートよこはま (Tel) 227-6337 (Fax) 227-6338
☎ 申込先かこども青少年局こども家庭課 (Tel) 671-2390

シニアボランティアポイント 新規登録者向け研修会 開催

介護施設などで活動すると、寄付・換金可能なポイントがたまる事業へ参加を希望する人。65歳以上、各先着。日程等詳細は問合せかWEBで
☎ 市役所市民協働推進センター・スペース
☎ 4月13日から☎で事務局(かながわ福祉サービス振興会内、Tel) 671-0296 (Fax) 671-0295
☎ 申込先か健康福祉局介護保険課 (Tel) 671-4252

横浜シニア大学 受講生募集

高齢者が健康で豊かに暮らすための知識を学ぶ。60歳以上、各抽選。費用等の詳細は問合せかWEBで
☎ 5月～7月、全4～9回
☎ 各区老人福祉センターほか
☎ 5月7日まで
☎ 横浜市老人クラブ連合会 (Tel) 433-1256 (Fax) 433-1257

講演・講座

①依存症家族教室②依存症回復プログラム 参加者募集中

事前申込制。詳細はWEBで
☎ ①2027年3月まで。原則、第4金曜14時～15時30分②7月～11月の第1・3水曜14時～16時、全10回
☎ 会場のこころの健康相談センター (Tel) 671-4408 (Fax) 662-3525

催し

ザよこはまパレード(国際仮装行列) 開催

☎ 5月3日(日・祝)10時15分～15時。荒天中止
☎ 山下公園～赤レンガ倉庫～馬車道商店街～伊勢佐木町商店街
☎ 実行委員会(横浜商工会議所内、Tel) 671-7423 (Fax) 671-0131

「わくわく!こどもデー」開催

親子で楽しむ、遊んで学べる体験型イベント。詳細はWEBで
☎ 5月3日(日・祝)～5日(火・祝)の10時～15時
☎ 市役所アトリウムほか
☎ 総務局管理課 (Tel) 671-2082 (Fax) 662-7650

JCAカーリングスクール 参加者募集

カーリング女子オリンピック日本代表フォルティウスの選手を講師に迎えた体験スクール。抽選6コース計100人。詳細はWEBで
☎ 5月16日(土)
☎ 横浜銀行アイスアリーナ
☎ 4月20日まで
☎ にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課 (Tel) 671-4566 (Fax) 664-0669

横浜市民広間演奏会 春の部 開催

☎ 各12時～12時50分。4月13日(月)～18日(土)・5月17日(日)～22日(金)・6月13日(土)～18日(木)
☎ 市役所アトリウム
☎ 事務局(ヤマハミュージック横浜みなとみらい内、Tel) 307-1010) かにぎわいスポーツ文化局文化振興課 (Tel) 671-3714 (Fax) 663-5606

開港記念式典・コンサート 市民招待

抽選1,500人。詳細はWEBで
☎ 6月2日(火)14時～16時
☎ みなとみらいホール
☎ 4月24日まで
☎ 受付窓口 (Tel) 263-6926 (Fax) 661-0604) かにぎわいスポーツ文化局総務課 (Tel) 671-4123)

お知らせ

粗大ゴミは早めに申し込みを
インターネット受付 ▶▶▶ 年中無休
受付センター ▶月～土曜(祝日を含む)
☎ 0570-200-530または☎ 330-3953

令和8年度固定資産税・都市計画税(第1期)①納付期限②納付方法のお知らせ

①4月30日(木)まで。納税通知書は4月上旬発送②スマホ決済、クレジット納付、ペイジー納付、口座振替
《スマホ決済》バーコード読取によるスマホ決済は4月30日まで。5月からeL-QR読取のみに統一
☎ 資産所在地の区役所税務課か、総務局①固定資産税課 (Tel) 671-2258 (Fax) 641-2775) ②徴収対策課 (Tel) 671-2255 (Fax) 641-2775)

①宅内雨水浸透ます設置助成金 ②雨水貯留タンク設置助成金 ③マンホールトイレ設置助成金

各先着。詳細はWEBで
①雨水を地中にしみ込みやすくし浸水被害を軽減。1個につき最大81,000円。申込前の購入は対象外
②災害用や庭木用に雨水を有効活用。購入価格の2分の1で上限20,000円
③防災活動を行っている自治会町内会・マンション等の管理組合へ設置費用の10分の9で上限600,000円。申込前の購入は対象外
☎ 下水道河川局管路保全課 (Tel) 671-2829 (Fax) 641-5330)

法律等各種専門相談

専門家が対応。事前予約制(⑦を除く)。休止・変更になる可能性もあり。詳細は問合せかWEBで
☎ 12時～13時を除く
①夜間法律=第2・4水曜18時～20時30分
②法律=月～金曜の9時～16時
③司法書士=月～水曜の13時～16時
④宅地建物=月曜10時～16時
⑤人権=水曜13時～16時
⑥公証=第1・3金曜13時～15時
⑦交通事故=月～金曜の9時～16時
☎ ①希望月の初開庁日からWEBで
②～⑥希望日の1週間前から☎で
☎ 市役所市民相談室 (Tel) 671-2306 (Fax) 212-0911)

☎ 日時 ☎ 場所 ☎ 費用 ☎ 保育 ☎ 申込み ☎ 問合せ WEB ウェブページ 往 往復はがき 入 はがき 必要事項 行事名・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・往復はがきは返信面を明記

市政へのご意見・ご提案

手紙 「市民からの提案」と明記し、居住区の区役所へ。市役所や区役所、公共施設に専用封筒もあります。
インターネット 市民からの提案 検索

広報よこはまをアプリやウェブで

広報よこはまは無料アプリ「カタログポケット」で閲覧できます。紙面や文字を拡大でき、記事内の二次元コードをタップするだけで、詳細ページがひらきます。音声読み上げや多言語にも対応しています。



広報テレビ・ラジオ番組(レギュラー放送のみ)

テレビ ハマナビ tvk 18:00～18:30
YOKOHAMA My Choice!
FMヨコハマ 9:30～10:00
Public Service Announcement
inter fm 897 12:55～12:58

就学援助制度

市立小・中・義務教育学校へ通学させるのに経済的に困難な保護者へ学用品費・修学旅行費などを援助

☎ 通学校か教育委員会事務局学校支援・地域連携課 (TEL 671-3270 FAX 681-1414)

横浜市中企業融資制度

市内で事業を営むか事業に着手する個人事業主・中小企業・協同組合・NPO法人などに低金利で融資。詳細はWEBで

☎ 取扱金融機関
☎ 経済局金融課 (TEL 671-2592 FAX 664-4867)

小児医療証を
新たな対象者へ
5月中に発送します!

6月から対象年齢を18歳まで拡大。2026年4月25日時点で横浜市に住居登録がある、中学卒業後から18歳までの子どもが対象。詳細はWEBで



☎ 横浜市小児医療証コールセンター (TEL 900-6760 FAX 411-5855)

よこはまLGBT相談

臨床心理士が対応。各先着2人。申込先等詳細はWEBで

☎ 2027年3月まで。月曜夜間・木曜午後
☎ 西区福祉保健活動拠点
☎ 市民局人権課 (TEL 671-2718 FAX 681-5453)

性的少数者向け交流スペース
「Friend SHIP よこはま」

自分のセクシュアリティについて迷いがある人などが、安心して気軽に過ごせる場。詳細はWEBで

☎ 2027年3月まで。13時~14時は10代のみ。①土曜13時~17時②第3日曜13時~16時30分
☎ ①男女共同参画センター横浜
②男女共同参画センター横浜北
☎ 市民局人権課 (TEL 671-2718 FAX 681-5453)

若者のための専門相談

不登校やひきこもりなどの悩みを持つ15~39歳とその家族。事前予約制。詳細はWEBで

☎ 月2回、午後
☎ 18区役所。①神奈川・鶴見・中・西・南区②旭・泉・瀬谷・保土ヶ谷区③磯子・

金沢・港南・栄区④青葉・港北・都筑・緑区⑤戸塚区

☎ ①東部ユースプラザ (TEL 642-7001)
②西部ユースプラザ (TEL 744-8344)
③南部ユースプラザ (TEL 761-4313)
④北部ユースプラザ (TEL 948-5505)
⑤戸塚区役所生活支援課 (TEL 866-8431)
☎ 申込先かこども青少年局青少年育成課 (TEL 671-2324 FAX 663-1926)

横浜市立学校の管理運営に関する規則の改正に係る意見公募手続

資料の閲覧は期間中WEBで
☎ 4月15日(水)~5月15日(金)
☎ 教育委員会事務局教育政策推進課 (TEL 671-3243 FAX 663-3118)

環境アセスメント図書の縦覧

(仮称)旧上瀬谷通信施設観光・賑わい地区開発事業 計画段階配慮書 環境情報提供書の提出は問合せ先へ

☎ 4月15日(水)~30日(木)
☎ 区役所広報相談係(旭・瀬谷区)、問合せ先
☎ みどり環境局環境影響評価課 (TEL 671-2495 FAX 663-7831)

施設から

野島青少年研修センター

夏期宿泊利用抽選会
7月18日~8月31日宿泊分。市内で活動し20人以上で利用する青少年団体等。詳細は4月13日からWEBで
☎ 5月9日まで
☎ TEL 782-9169 FAX 701-9599

①青少年野外活動センター(三ツ沢公園・くろがね・こども自然公園)
②少年自然の家(南伊豆臨海学園、赤城林間学園)

夏期利用抽選会
7月21日~8月31日利用分。市内で活動し20人以上で利用する青少年団体等。詳細はWEBで
☎ ①5月8日まで②5月6日まで
☎ スポーツ協会 (TEL 640-0017 FAX 640-0024)

ズーラシアからのお願い

ゴールデンウィーク期間中は周辺道路が大変混雑するため、来園前に渋滞情報の確認を。詳細はWEBで
☎ みどり環境局動物園課 (TEL 671-4124 FAX 550-4650)

市内5か所目!

東部児童相談所が4月1日に開所します

これまで中央児童相談所が担当していた神奈川区・鶴見区・中区・西区・南区のうち、**神奈川区と鶴見区を東部児童相談所が新たに担当します。**これにより、地域や関係機関との連携を強め、よりきめ細やかな支援を進めていきます。



東部児童相談所

TEL 045-633-4720
FAX 045-500-3553
【所在地】鶴見区生麦3-15-30
【アクセス】京浜急行線「生麦」駅 徒歩約5分

児童相談所とは

18歳未満の子どもに関する養育、非行、障害、不登校、性格や行動の問題・虐待等についての相談を受け付け、専門的な調査・判定・支援を行う施設です。里親に関する相談も受け付けています。



相談についてはこちら

☎ 問合せ こども青少年局こどもの権利擁護課 TEL 045-671-2394 FAX 045-550-3948

よこはま
彩さい発見
vol.40

海、港、緑、歴史、地域、人々、さまざまな魅力を持つ都市横浜。この街の彩りを「よこはま彩発見」としてお届けします。今回は、横浜市環境科学研究所(神奈川区)からです。

ゆっくり“海さんぽ”してみませんか?

横浜市環境科学研究所



▲山下公園前海域の海底景観

横浜といえば「海」。そんなイメージを持つ方も多いのではないのでしょうか。横浜の海は埋め立ての歴史とともに変化してきました。それでも、自然の海岸線や干潟、小さな砂浜が残り、生き物たちが暮らしている場所はまだまだたくさんあります。横浜市環境科学研究所では、海を風景として眺めるだけでなく、もっと身近に感じてもらえるように、水質改善や生き物が過ごしやすい環境づくりに取り組んでいます。山下公園前の海では、企業と連携して生物付着基盤という人工の生き物のすみかを設置しました。ここに定着した二枚貝やホヤが、海水をろ過してくれることで水質が少しずつ改善し、

アイナメの産卵が確認されるなど、好循環が生まれつつあります。海辺を散歩すると、潮風の心地よさに加え、海の変化を身近に感じられます。海面をのぞくと小魚がきらめき、岸壁や砂浜には海藻や貝、カニもいます。ウミネコやユリカモメが羽を休める姿も見られます。そんな魅力あふれる横浜の海沿いを散歩する際には、環境科学研究所で作成している「よこはま海さんぽMAP」をぜひお供にどうぞ。海にゆかりのある情報や生き物の豆知識が満載です。

春の陽ざしが心地よい季節に、ゆっくり横浜の海辺を歩きながら、“海さんぽ”を楽しんでみませんか。



MAPはこちら



さらに詳しい話は
こちら



ウェブ版では
抽選で
読者プレゼント
あり

横浜市環境科学研究所

【交通】JR線「新子安」駅または京浜急行線「京急新子安」駅下車、徒歩15分。
※業務紹介と「学び」の提供を目的とした施設見学を実施しています。見学は10~40名のグループが対象です。

☎ 問合せ みどり環境局環境科学研究所 TEL 045-453-2550 FAX 045-453-2560

市民の皆さんの信頼に応え、必要な施策を推進するため 4月から市役所の組織体制を変更します

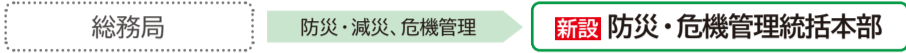
【凡例】



フロアレイアウトが
変わります

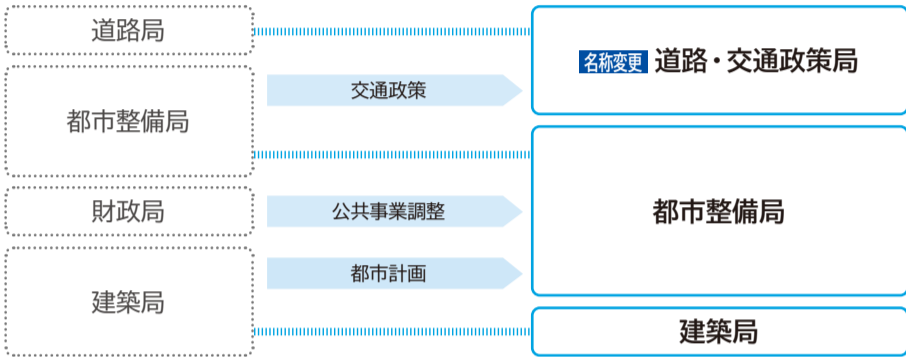
防災・減災対策と危機管理体制の強化

市民の命と暮らしを守るため、災害や緊急事態に機動的かつ迅速に対応します。



都心部・臨海部から郊外部に至る一体的なまちづくり

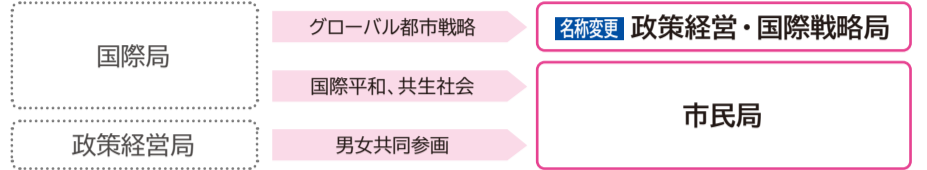
都市の持続的な成長・発展に向けたまちづくりや快適に移動できる環境づくりを進めます。



問合せ 行財政局人事課 ☎045-671-2071 ☎045-662-7712

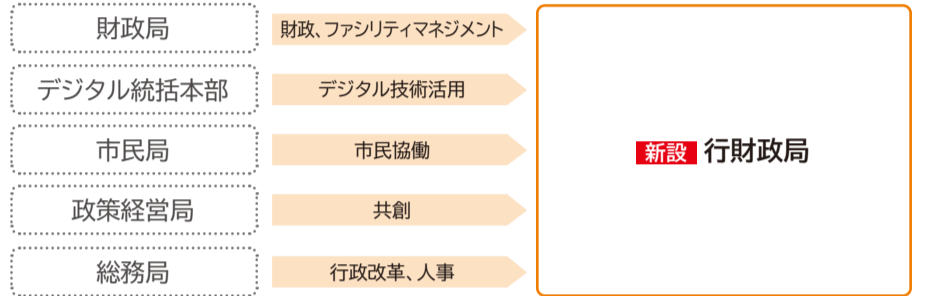
グローバル都市戦略の推進

国際都市としての競争力と発信力を強化し、国際平和と多様性を尊重する社会の実現を目指します。



データ駆動型経営の実現

デジタル技術を活用して、業務の効率化や行政改革を進め、行政と財政の運営を一体的に行います。



4月1日~ 定期予防接種に関するお知らせ

妊婦への定期接種が始まります

RSウイルス母子免疫ワクチン

【対象】妊娠28週0日~36週6日の人

【自己負担額】無料



RSウイルス感染症は風邪の一種で、乳児の入院の主要な原因です。適切な時期に予防接種を受けることで、重症化を防ぐことができます。



詳しくはこちら

定期接種のワクチンが新しくなります

成人用肺炎球菌ワクチン

【対象】65歳の人 【自己負担額】5,000円

※60~64歳で、心臓、腎臓、呼吸器、免疫機能に1級相当の障害がある人も対象
※市民税非課税世帯の人などは、自己負担免除となります



肺炎球菌とは国内で死因の上位である、肺炎を引き起こす細菌です。新しいワクチンは従来に比べ、高い有効性と予防効果の持続が期待されます。



詳しくはこちら

問合せ 横浜市予防接種コールセンター（月~金曜9時~17時〈土日祝・休日を除く〉） ☎045-330-8561 ☎045-664-7296

10月25日(日)
開催

4月8日(水)~ 申込開始!

横浜マラソン2026 参加者募集

ランナー募集 5月17日(日)まで (市民等の優先枠、一部種目の募集は5月6日(水)まで)

ボランティア募集 6月30日(火)まで

横浜の魅力あふれる景色を楽しみながら、フルマラソンやみなとみらい7kmランなどの様々な種目に、子どもから大人まで参加できます。



詳しくはこちら



問合せ 横浜マラソン組織委員会事務局（月~金曜10時~16時〈土日祝・休日を除く〉） ☎045-651-0666 ☎045-226-5037

横浜市の物価高騰対策

くらしと家計を 応援します



2026年度給食費

小学生

国基準額 + 横浜市独自補助を実施

保護者負担 0円

中学生

保護者負担額 + 横浜市独自補助を実施

物価高騰分は市が負担

4月
から

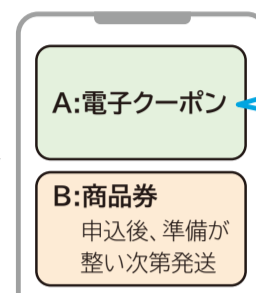
19歳
以上

1人につき5,000円相当の 電子クーポン等を給付します

4月下旬から順次、対象世帯へ案内はがきを発送します。対象者は、2月1日時点で市内に住民登録があり、4月1日時点で19歳以上の人です。

受取方法

はがきを受け取り
二次元コードから
選択



すぐに
利用
可能

イメージ

区役所相談ブース 4月下旬～

不安をお持ちの人の申込みをサポート
月～金曜9時～17時(祝・休日を除く)

問合せ 横浜市価格高騰対応給付コールセンター (3月30日～)
☎0570-045-456 ☎050-3588-8362
月～金曜9時～17時(祝・休日を除く)

給食費負担軽減

5,000円給付(電子クーポンまたは商品券)

2万円給付(物価高対応子育て応援手当)

商店街 プレミアム付商品券

0～18歳

児童1人につき 2万円を給付します

物価高対応子育て応援手当として、児童手当受給者に対し、3月10日から順次支給しています。

商品券
購入者

商店街 プレミアム付商品券で お得に買い物!

4月から順次販売されます。商店街により販売時期が異なるため、詳しくは上記二次元コードから確認してください。

問合せ 経済局商業振興課 ☎045-671-3488 ☎045-664-9533

※国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用



横浜市LINE
公式アカウント

市・区からのお知らせを受け取れるほか、図書館の蔵書
検索や道路の損傷通報などのサービスを利用できます。



発行

政策経営・国際戦略局広報・プロモーション戦略課 ☎045-671-2332 ☎045-661-2351
横浜市役所 〒231-0005 中区本町 6-50-10 ☎045-671-2121 (代表)